

経営比較分析表（令和6年度決算）

愛知県岡崎市 岡崎市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	41	対象	透1未訓ガ	救臨がへ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
382,656	62,940	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
680	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	680
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
654	-	654

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の関係・ネットワークをききむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

岡崎市民病院の役割は、三次医療機関として医療資源の効率化と機能分化を推進し、地域医療に貢献する高度急性期医療を担う。また公立病院として、救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療など医療体制の充実を図る。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全性・効率化を示す①経常収支比率については、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が大幅に減少したため前年度を下回ったが、平均値を前年度に引き続き上回った。②医業収支比率については平均値を上回ったが、給与費、材料費の増加等に伴い、前年度より悪化した。
・④病床利用率は入院患者数の増により前年度を上回ったが、引き続き紹介患者を増やし入院患者数を確保する必要がある。⑤入院患者1人1日当たり収益は、DPC制度の効果的運用などによる収益増加に伴い、前年度を上回った。
・⑧材料費対医業収益比率について、診療材料の共同購入事業への参加等で費用の抑制を図ったことにより平均値を下回っているが、前年度より増加しており、引き続き材料費の節減に努める必要がある。

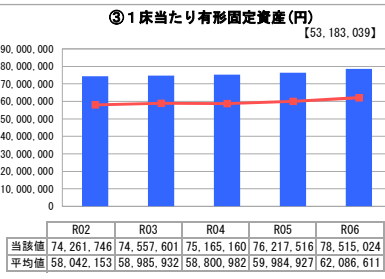
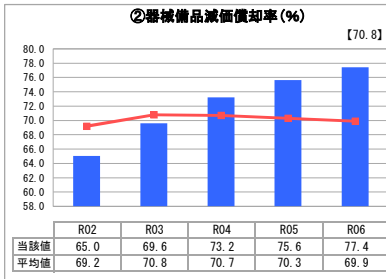
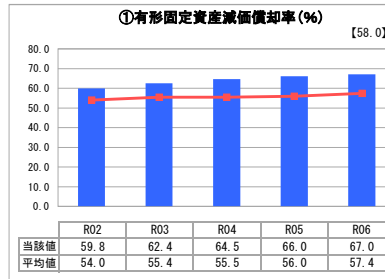
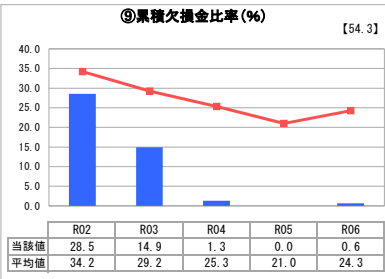
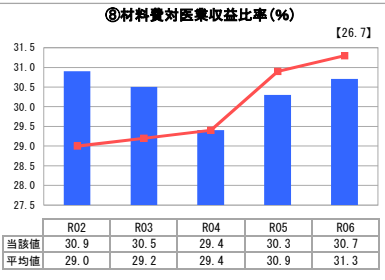
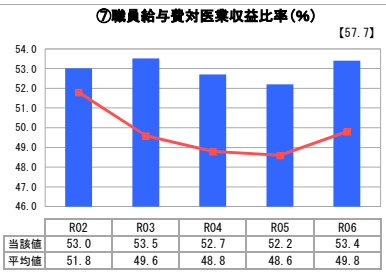
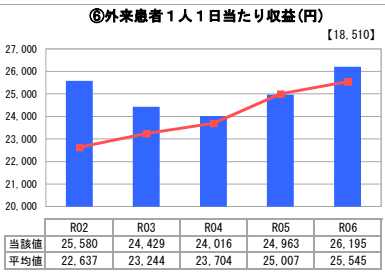
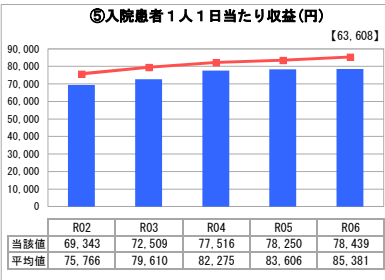
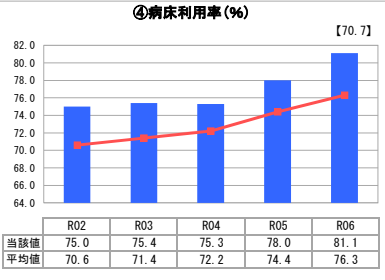
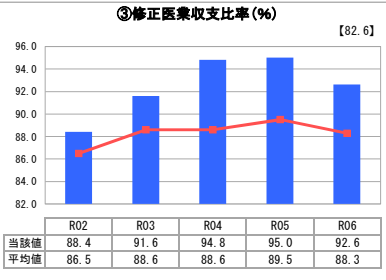
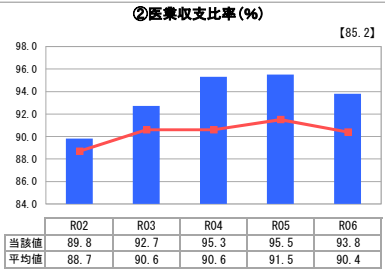
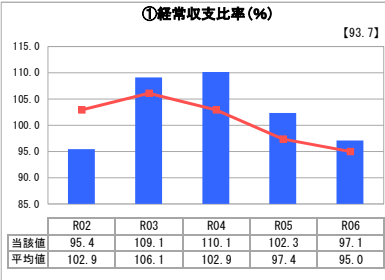
2. 老朽化の状況について

・平成10年に現在の場所に当院が完成し、令和6年度で26年が経過した。
・地域医療に貢献する高度急性期医療を維持するため、本年度建設改良では、照明設備改修工事、空調熱源改修工事など計画的に更新を進め、医療機器の整備では、自動薬剤ピッキング装置や人工関節手術ロボットアーム支援システム、AI技術を活用した医用画像情報システムの導入を行った。厳しい経営状況の中、必要性の高いものから順次更新等を行うとともに、老朽化の状況を示す①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率、③1床当たり有形固定資産は平均値を上回っている。引き続き計画的な更新を行うとともに、投資対効果を見極め、医療の維持に資する適切な投資を進めていく必要がある。

全体総括

・本年度は、入院収益の増等により医業収益が増加したものの、新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入がなくなったことに加え、給与費や材料費の増等により、昨年度と比較し厳しい経営状況となっている。引き続き、各部門が作成する行動計画により経営意識の向上を図るとともに、収益面では地域連携の推進による在院日数の短縮や紹介患者の増等による収益の確保、支出面では看護師の業務量・業務内容等の調査分析をはじめとした取組みにおける業務の適正化や効率化等による費用の抑制で、経営状況の改善を図る。併せて、老朽化した施設及び医療機器の更新を計画的に実施し、持続的な医療を提供する。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。